

CHIHOMEN NEWS

ベンチャー企業支援イベント 第一弾！ 「ベンチャー企業経営者と金融機関との意見交換会」を開催 ～ 大阪南北2大バレーの企業が集結 ～

1.ベンチャー企業経営者と金融機関との意見交換会

ベンチャー企業が抱える資金調達や人材確保といった様々な課題の解決を支援するため、5月18日(金)、大阪府堺市にある「(株)さかい新事業創造センター(S-Cube)」において、「ベンチャー企業経営者と金融機関との意見交換会」を開催。

金融機関から審査担当者等を招き、融資審査を受ける際の事業計画の記載内容や事業内容説明のポイントといった点について意見交換したほか、人材マッチング支援に取り組んでいる金融機関からその支援内容を紹介いただきました。

意見交換会には、大阪府下の2大ベンチャー企業集積地である「にしなかバレー(大阪市淀川区・西中島地区)」と「なかもずバレー(堺市・中百舌鳥地区)」を代表する企業経営者(6名)が出席。

当地域においてベンチャー企業の支援に積極的に取り組んでいる金融機関の審査担当者等との間で熱い議論が交わされました。



意見交換事項

1. ベンチャー企業への融資
 - 融資実行までのプロセス・審査期間
 - 審査のポイント
 - 審査に当たっての提出資料・ビジネスモデルの説明の工夫
2. 金融機関のベンチャー企業支援策
 - 企業への情報提供
 - 企業の販路開拓にかかる支援
 - 人材確保・人材育成にかかる支援
3. 金融機関のベンチャーファンドへの取組
4. その他

2.意見交換会での主な意見

“融資実行までのプロセス・審査期間”

⇒ ベンチャー企業が金融機関に融資を申し込む際に留意すべき点はあるか

- ・ 決算書の説明を税理士まかせにせず、社長自身がその内容を理解し、「ここの数字はこうなっている」と説明できることが重要。
- ・ ベンチャー企業の事業内容を早期に理解してもらうために、金融機関の融資担当者には書類の説明に加え、可能な限り現場を見てもらうとよい。
- ・ 本部審査では、書類が全てではなく、分からないことは支店に直接聞いているので、できれば担当者だけでなく、その上司など複数の者の理解を得ることができれば、スムーズな審査につながる。

“審査のポイント”

⇒ 融資の可否判断で重視していること

- ・ 融資審査では、ビジネスモデルだけではなく、社長の人柄、キャリアや熱意なども含めて審査している。

⇒ 融資申込時に重点的に説明すべき事項

- ・ 新技術や事業を興した経緯をきちんと整理し、同業者がいるのか、ニッチなところの対応なのか、大手が追随できないサービスなのかといった点なども丁寧に説明してもらうと理解が早まる。
- ・ 金融機関は、融資の判断基準のひとつとして、安全性（融資が期日に確実に回収されること）を重視している。自らの製品・サービスが将来の収益にどうつながっていくのかを事業計画に記載するとともに、十分に精査して説明してほしい。

“販路開拓、人材支援”

⇒ 販路開拓についての金融機関の支援

- ・ 金融機関ごとに各種アドバイザー、法律やマーケティングの専門家をそろえていたりするので、気楽に来店して相談してほしい。

⇒ CFOなどの専門人材の派遣は可能か

- ・ 取引先のCFOとして行員を派遣する取組みを2～3年前から行っており、銀行からの出向者数をベンチマークとして対外的に公表している。
- ・ 人材支援のメニューとしては、地方公共団体と連携して大企業のOBを紹介する取組みを行っている。

意見交換会の様子



活発な議論が交わされました！

大阪にベンチャーの花を咲かせましょう！！



3.おわりに



※ベンチャー企業経営者と金融機関担当者が「ベンチャーの木」を囲んで記念撮影

大阪府第二の都市、堺。古くからベンチャー精神が宿るこの地に日本初のモノは多い。有名なところでは、自転車、包丁、鉄砲。その他にもスコップ、傘、線香、三味線など、すべて堺発祥である。

国際貿易港として栄えた堺は、海外の優れた技術や文化が流入する窓口となり堺職人が作った新しい商品が全国に広がったのだろう。新しいモノを積極的に取り込む進取の気風があり、それに改良を加えてイノベーションを起こす。



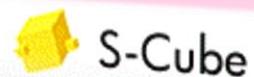
(大きく育ちますように!)

今回、(株)さかい新事業創造センター(S-Cube)のご協力を得て、この地でベンチャー支援第一弾のイベントを開催できたことに感謝申し上げたい。

ご出席をいただいた「にしなかわレー(西中島南方駅)」と「なかもずバレー(なかもず駅)」の企業は、既に大阪メトロ御堂筋線一本で結ばれているが、今回のイベントを通じて、同じ課題を共有する同志としてつながった意義も大きい。

当局では、今後もベンチャー企業支援の取組を継続するとともに、第二弾、第三弾のイベントを展開して参りたいと考えております。

(株)さかい新事業創造センター(S-Cube)とは・・・



今回、会場を提供いただいた「(株)さかい新事業創造センター(S-Cube)」は、堺市、中小企業基盤整備機構、堺商工会議所が出資するインキュベーション施設。施設内の約60室をスタートアップ企業などにオフィスとして貸し出しているほか、入居企業のサポート等を行っています。当該施設が所在する「中百舌鳥(なかもず)地区」は、ベンチャー企業が集積しており、米国のシリコンバレーになぞらえて「なかもずバレー」と呼ばれています。

(参考) 近畿財務局におけるこれまでのベンチャー支援の取組

近畿財務局では、地方創生・地域活性化の取組みを展開しており、今事務年度から新たにベンチャー企業の支援に取り組んでいます。

ベンチャー企業の支援策を検討するにあたって、本年1月、関西のベンチャー企業集積地と注目を浴びている大阪・西中島エリアに所在するベンチャー企業にヒアリングを実施しました。

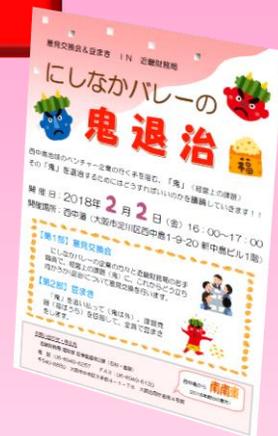
そこで浮き彫りとなった経営課題等を題材として、2月に当局職員とベンチャー企業経営者との意見交換会を開催しました。

ベンチャー企業経営者からは「**金融機関は何を基準に融資判断しているのか聞いてみたい**」といった資金調達に関する声や、「**ベンチャー企業を志望する学生はいるものの、周囲の理解が得られにくい**」といった人材確保等に関する声が聞かれたことから、近畿財務局ではその後、それらの課題解決に必要な支援策の検討を重ねて参りました。

⇒【2月の意見交換の様子は、平成30年2月22日 VOL13号をご覧ください】

今回開催の「ベンチャー企業経営者と金融機関との意見交換会」は、その支援策の第一弾となるイベントです。

2月開催のベンチャー企業経営者との意見交換会の様子



今回の企画でお世話になった方々、本当にありがとうございました。

- ・ベンチャー企業の皆様 (イクラ(株) 坂根代表取締役CEO様、(株)三天被服 東谷代表取締役様、(株)CLC 砂田代表取締役様、(株)チロル 穂吉代表取締役様、(株)Flucle 三田取締役様、夢見る(株) 平井取締役CFO様)
- ・金融機関 (池田泉州銀行、紀陽銀行、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、北おおさか信用金庫) の審査等担当者の皆様
- ・(株)さかい新事業創造センターの皆様